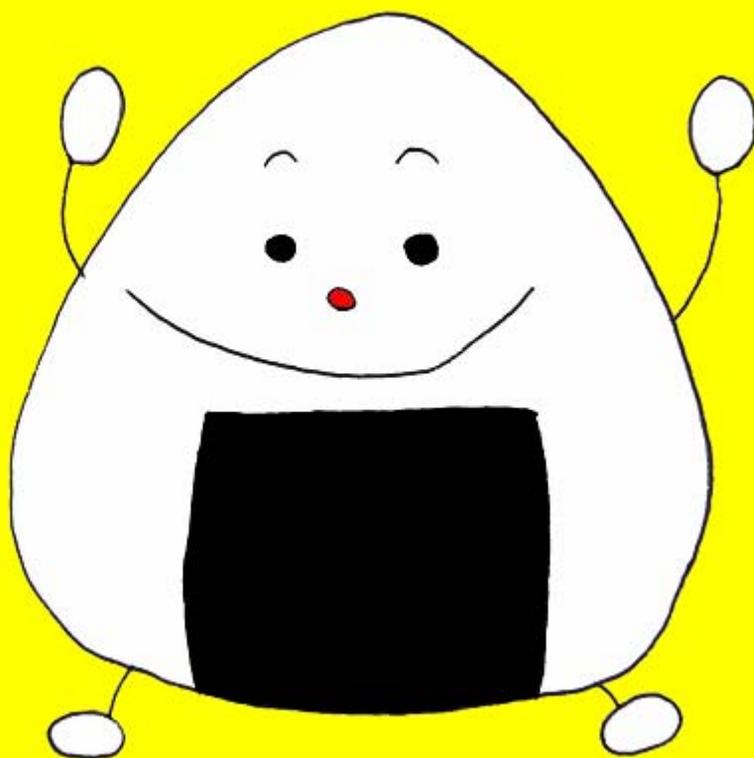


こめたろうものがたり



防災教育 チャレンジプラン

さく・え

ちきゅうぼうさいたい

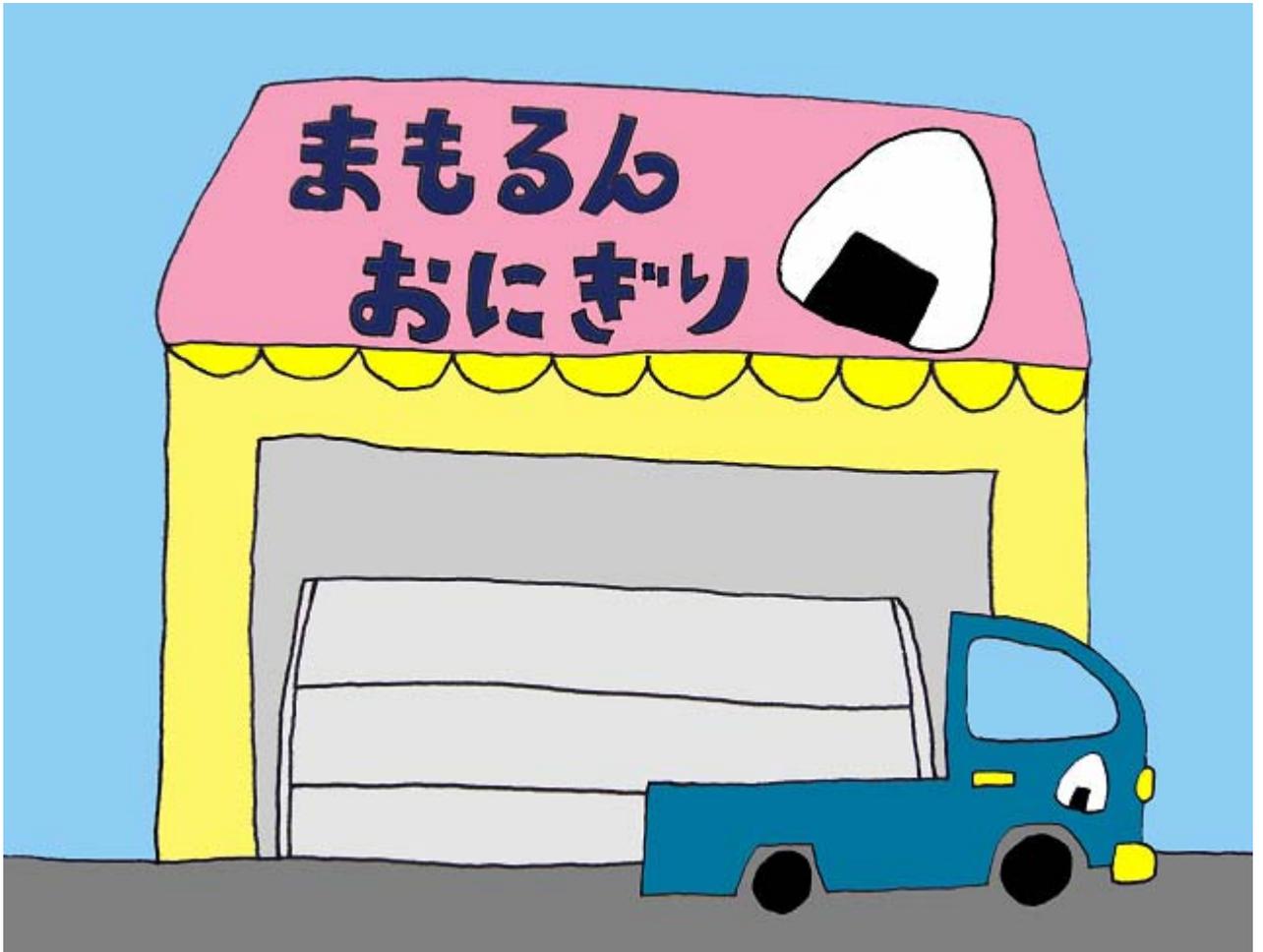
しょうえいたんきだいがくがくせい



こめたろうものがたり



さく・え
ちきゅうぼうさいたい
しょうえいたんきだいがくがくせい



ここは まもるん ちょう。
ちいさな ちいさな まちです。
ここに「まもるんおにぎり」という
おにぎりやさんが ありました。

おじさんと おばさんが ふたりで やっている
ちいさな おみせです。



きょうも せっせと
かいてんの じゅんびに おおいそがし!

うめぼし こんぶ たらこ しゃけ・・・
たくさんの おにぎりの ぐが ならんでいます。



そのとき！！
ゴゴゴゴゴ・ ・ グラグラグラグラ・ ・ ドーンッ！！

じしんがおこりました！！

「わーーー！！じしんだ！
つくえのしたに かくれないと！！」
「こわいわー！！！」



・・・やがて じしんは おさまりました。
おみせのなかに おおきな ひがいは なくて、
ほっと ひとあんしん。
しばらくすると、
テレビで じしんのニュースが はじまりました。
コロリンちょうでは おおきな ひがいがでています。
たくさんのひとが こうえんや がっこうに
ひなんを はじめたようです。
「となりのまちは おおきな ひがいだ」
「わたしたちに できることはないかしら・・・」



ピピピー！！

そのとき、ちょうど ごはんが たけました。

「そうだ！ひなんじょにおにぎりをとどけよう！」

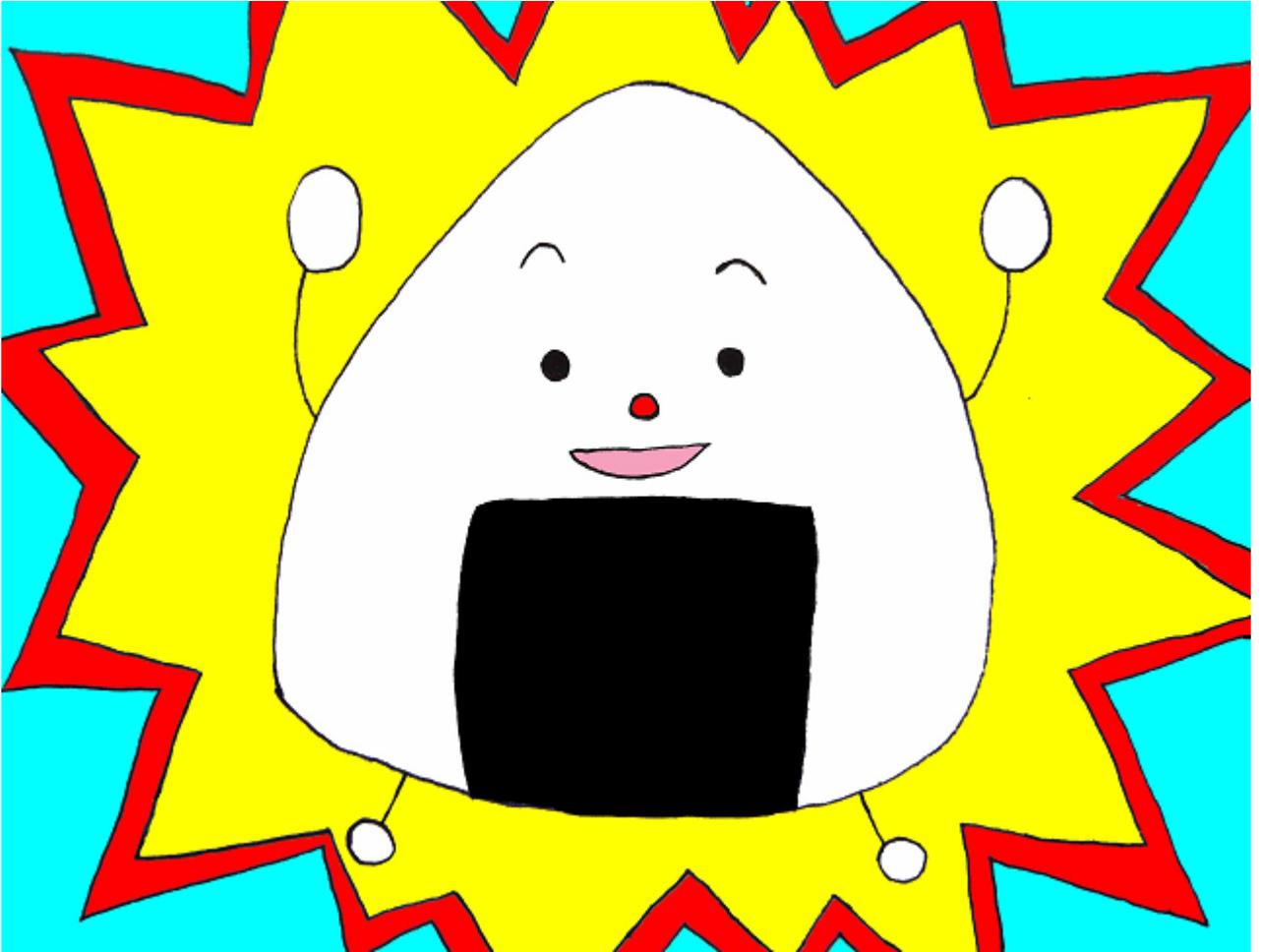
おじさんと おばさんは、
こえを そろえて いいました。

そして、いっしょうけんめい
おにぎりを にぎり はじめました。
ひとつひとつ きもちをこめて にぎりました。



おじさんと おばさんは、
おみせの おこめが なくなるまで
おにぎりを にぎりました。

そして たくさんの おにぎりが できました。
おじさんと おばさんの では、
あつあつの ごはんを にぎり つづけたので
まっかに なりました。



こうして やさしい きもちが はいった
おにぎりの こめたろうと
その なかまが うまれたのです。



「よし、いこう！！」
「いそがないと！！」

たくさんの おにぎりを のせて
となりまちの コロリンちょうへ
トラックが はしりだしました。



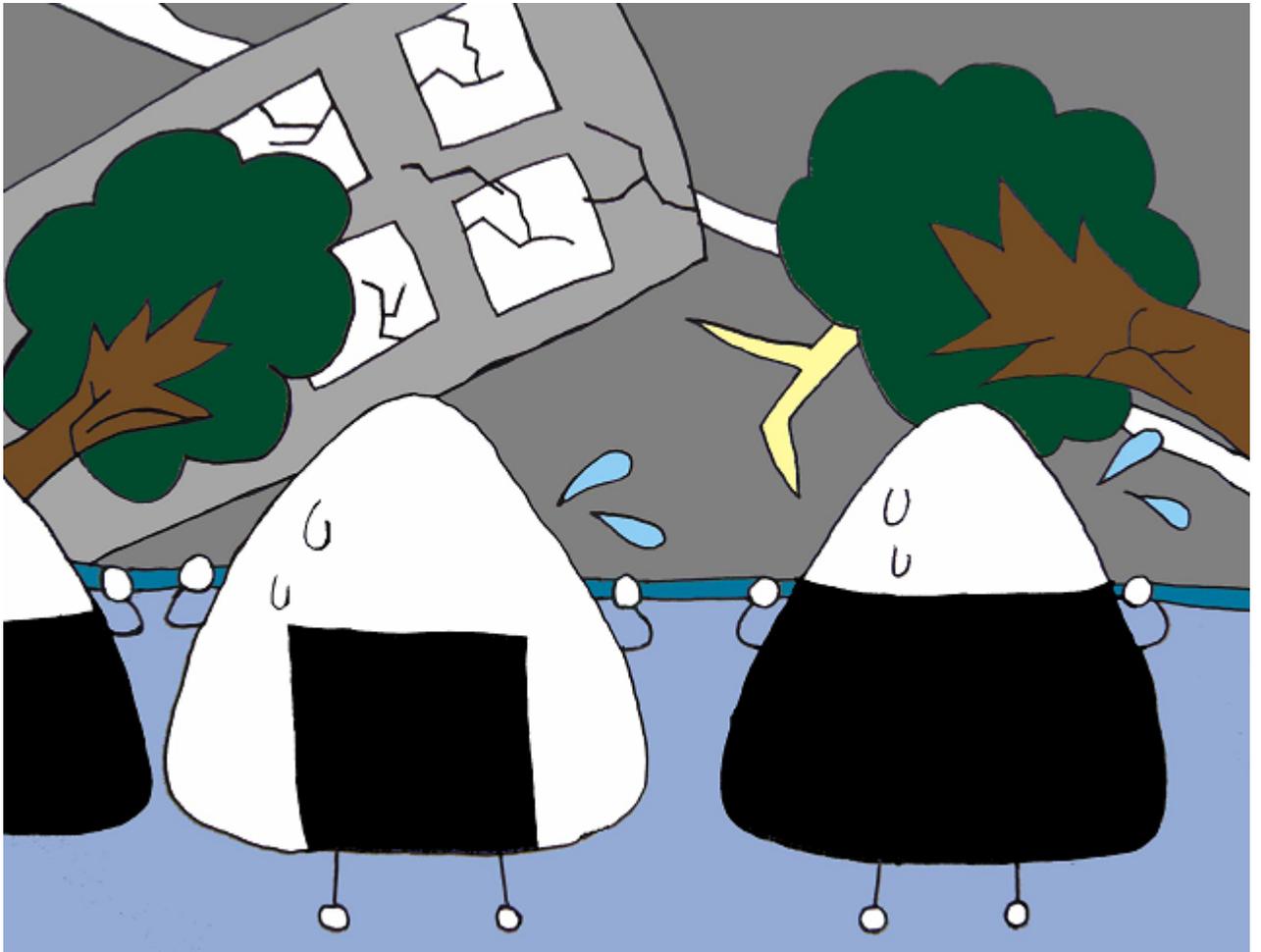
おやおや トラックのなかの
おにぎりたちが さわがしく なってきました。

「おすなよ」 「きついよー」
「たくさん のっているんだから しかたないだろ」

プップー、ガタンガタン、ゴトンゴトン

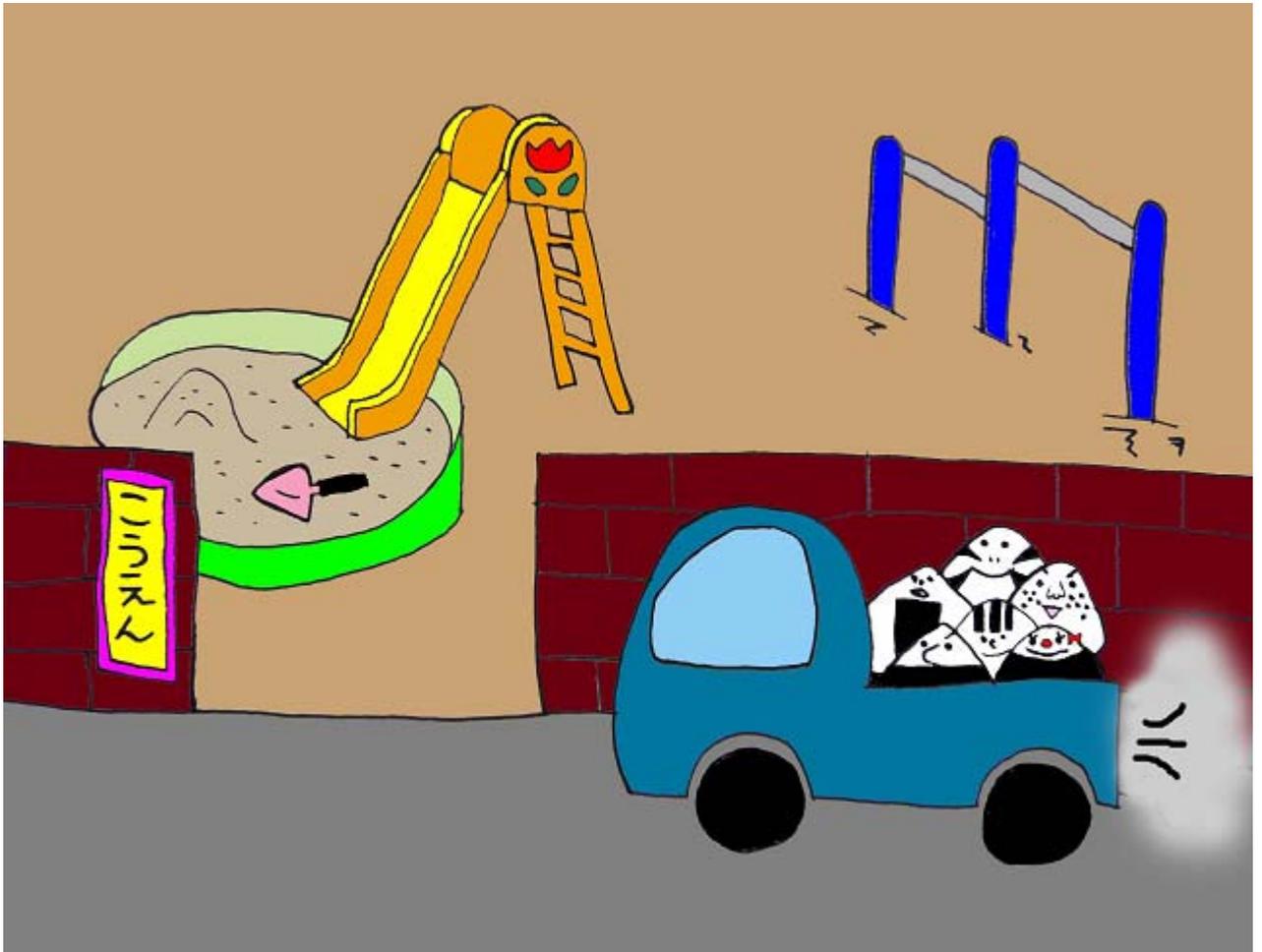
「こめたろう、トラックが ゆれて こわいね」

「さっきの じしんのせいで
みちが でこぼこ なんだよ」



「ノリくん みて! まちが ぐちゃぐちゃだよ」
「ほんとうだ きが たおれているね」

「あっちは いえが たおれているよ・・・
じしんって こわいね」



プッパー、ガタンガタン、ゴトンゴトン

こめたろうたちを のせた トラックが
こうえんに とうちやく しました。



いつもは こどもたちの えがおが
いっぱい の こうえん。
きょうは、たくさんのひとが ひなん しています。

「かなしそうなひとがいたね...」
「じしんで いえが つぶれちゃったのかなあ...」

おにぎりを もらうために、
たくさんのひとが ながいれつを つくっています。
こめたろうの なかまが ひとつずつ、
たくさんのひとへ わけられていきます。



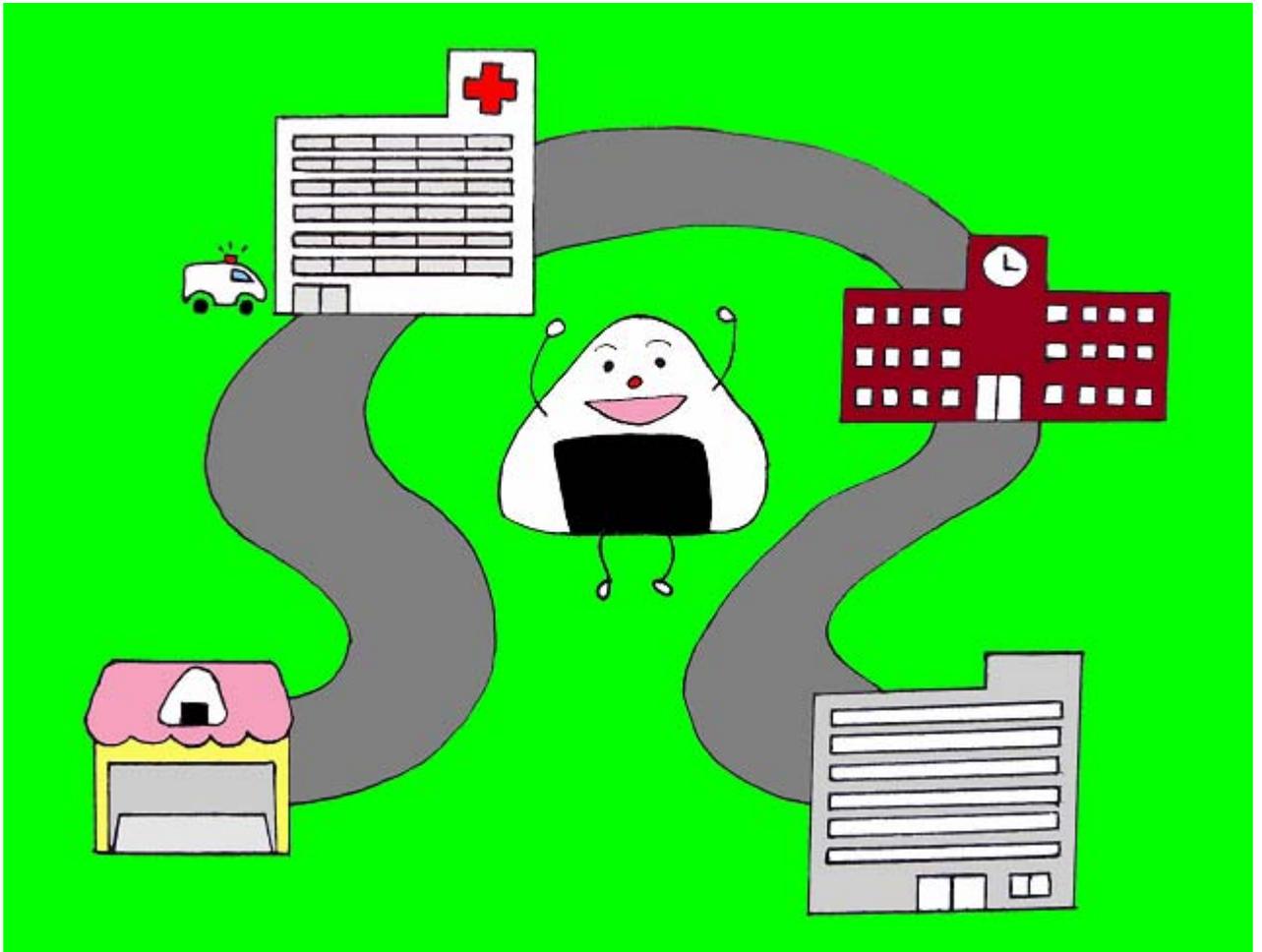
「ありがとう」

「すごく おなかが へってたんだ」

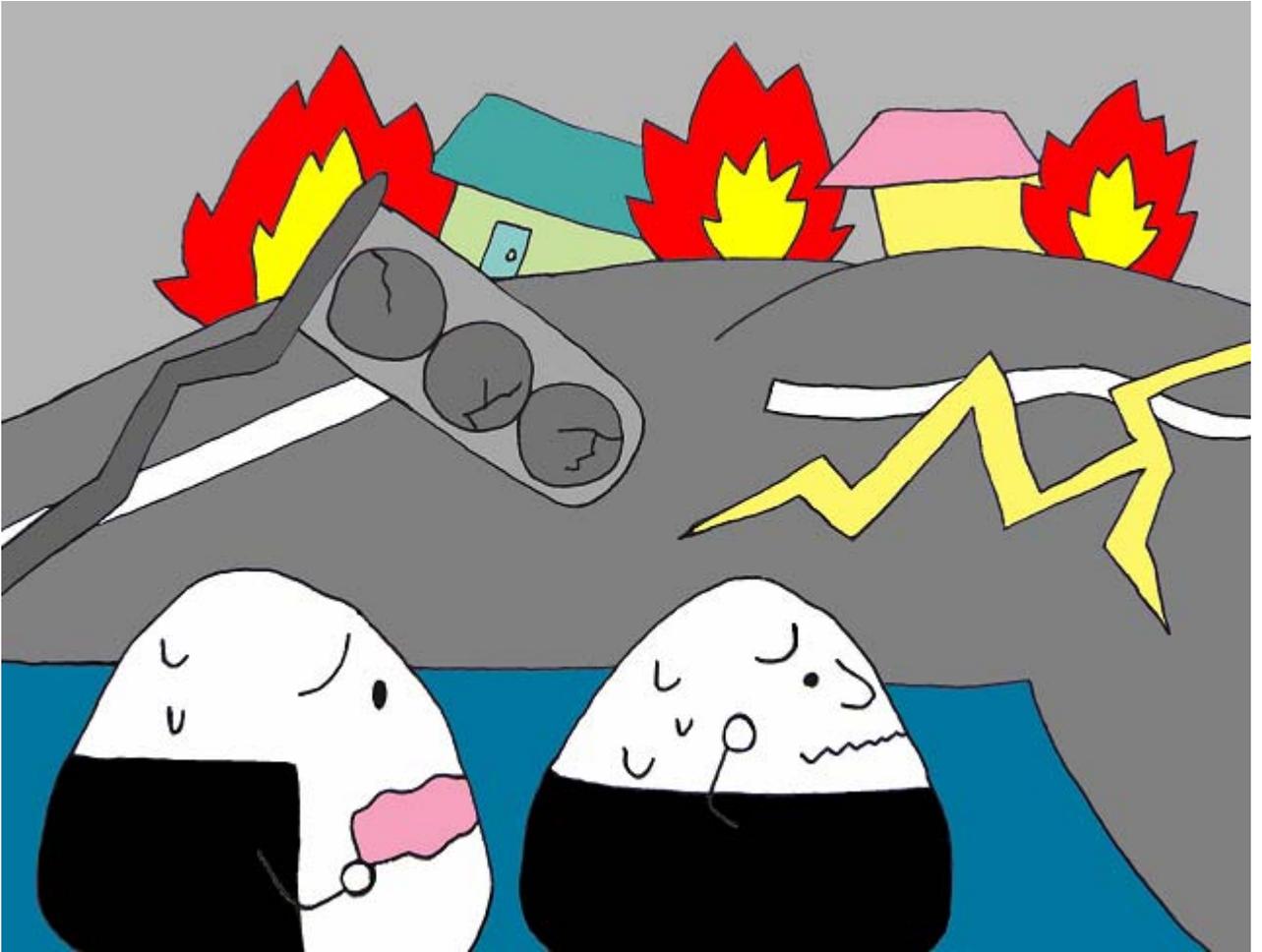
「あったかくて おいしいね」 「うん、おいしいね」

おにぎりを たべると みんな えがおになりました
みんなの えがおを みて こめたろうも にっこり。

こめたろうたちは、
いそいで つぎのばしょへ しゅっぱつ しました。

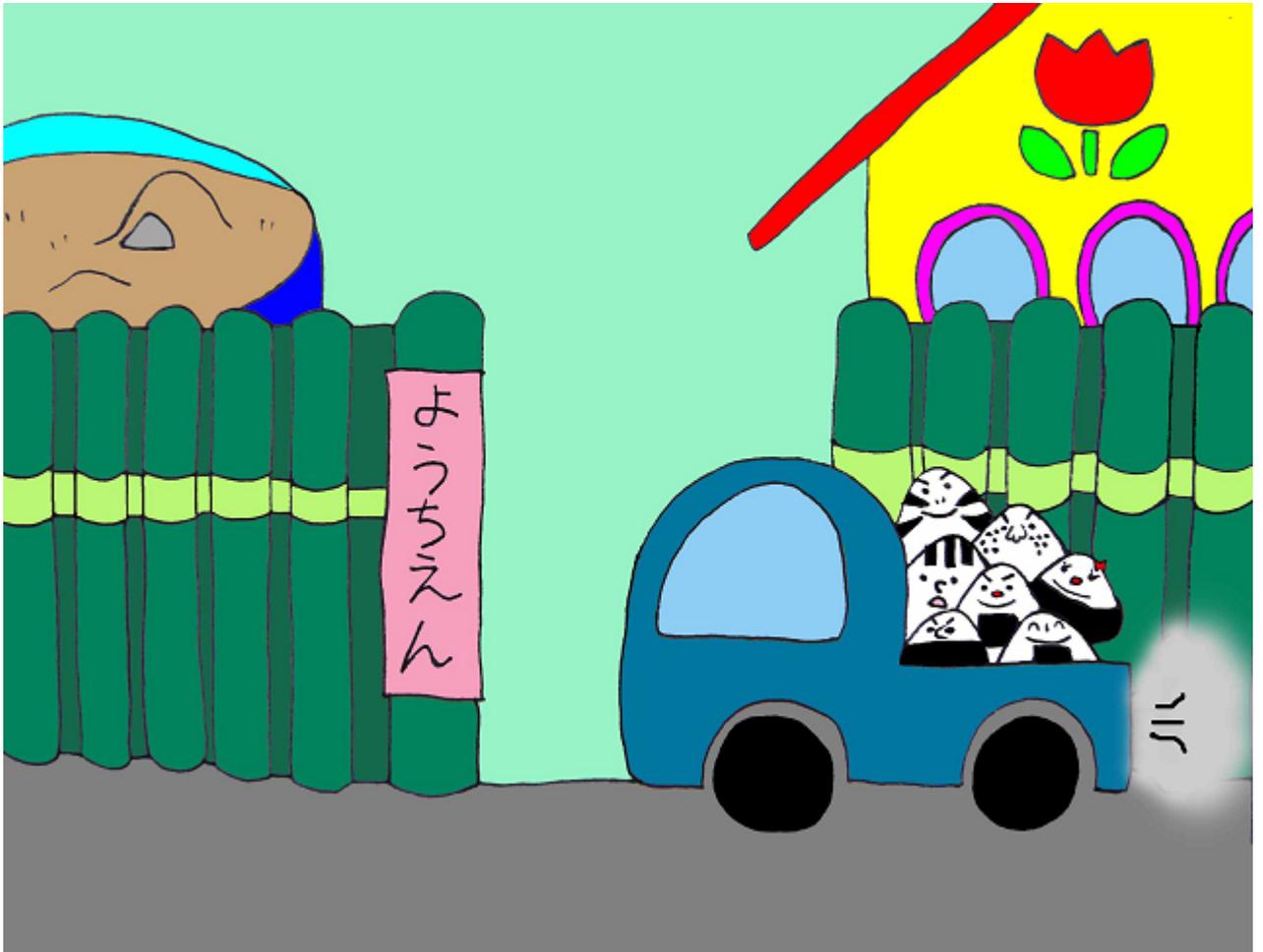


プップー、ガタンガタン、ゴトンゴトン
びょういん しょうがっこう こうみんかん
こめたろうたちを のせた トラックは、
まちの いろいろな ばしょへ
おにぎりを とどけに いきました。



「こめたろうみて、
じゆんにたくさんヒビがはいっているよ」
「しんごうがきえているね」

「あっちのほうでかじがおこっているよ」
「じしんってこわいね。」



プップー、ガタンガタン、ゴトンゴトン

こめたろうたちを のせた トラックは
ようちえんに とうちやく しました。



いつもは こどもたちが
げんきに あそんでいる ようちえん。

きょうは、たくさんのひとが ひなんしています。

おじさんと おばさんは、
おにぎりを くばる じゅんびを しています。

すると、おなかを すかせた ひとたちが
ながい れつを つくり はじめました。
このようちえんにかよう カズくんも おかあさんと
おにぎりを もらうために ならんでいます。



「はい、どうぞ」

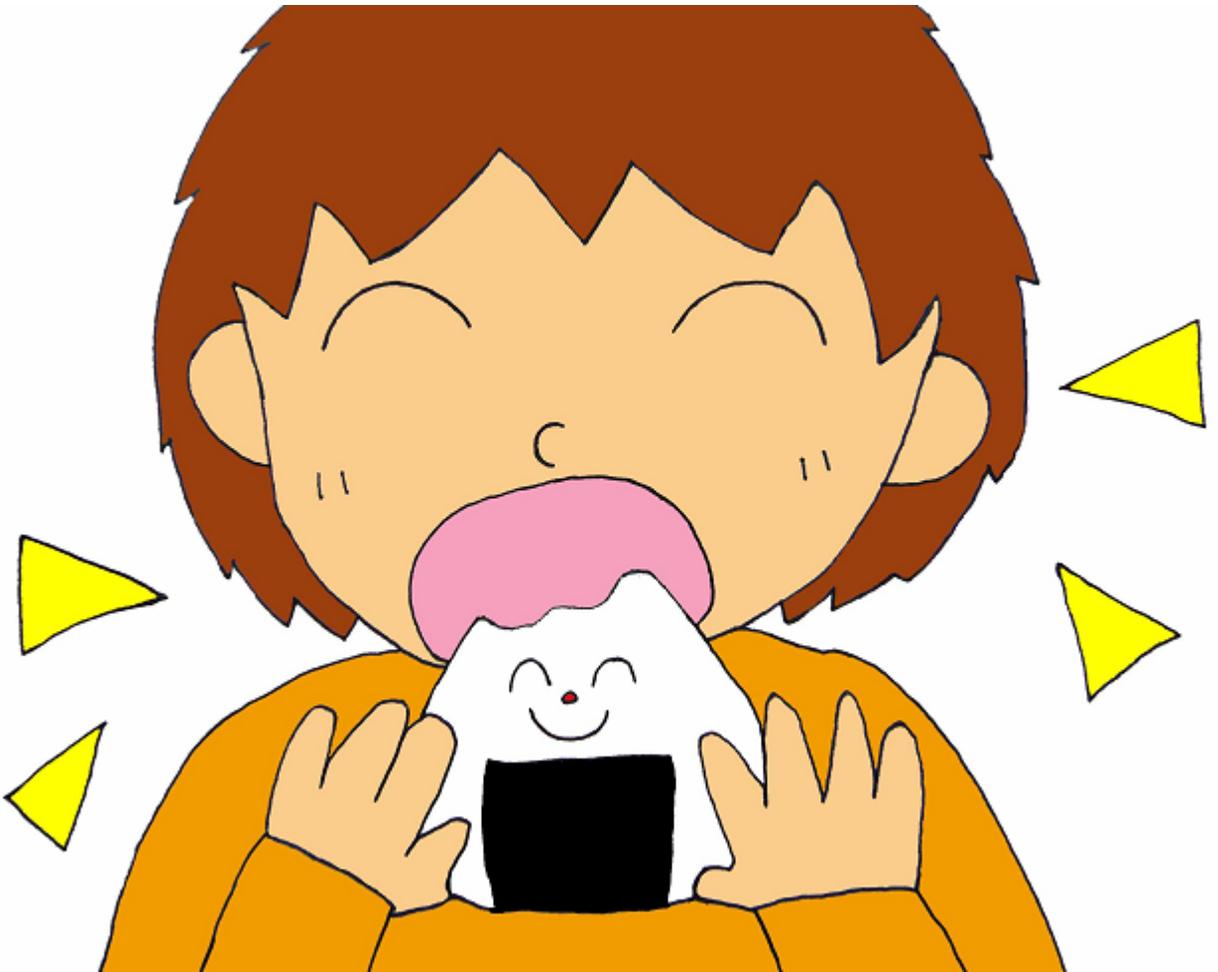
おじさんと おばさんが おにぎりを わたしました。
こめたろうは カズくんの もとへ いきました。

「いただきます!!!」
パク・・・



「ママ このおにぎり...」
「どうしたの カズくん」
「とっても つめたいよ」

「あれっ??...よろこんで もらえないのかな...」
こめたろうは ふあんに なりました。



「そっか！
おじさんと おばさんの やさしい きもちが
いっぱい つまってるんだね。

おじさん おばさん ありがとう！！
いただきます！
うんっ！つめたいけど おいしい～ね」



「カズくん、この おにぎりは
おじさんと おばさんが いっしょけんめい
ママたちのために つくってくれたのよ」
「ぼくたちの ために？」

「そうよ たくさん おにぎりを にぎってくれたの。
じしんで ひなんしている ひとたちのところに
いった あとだから すこし つめたいけどね。
おじさんと おばさんの やさしい きもちが
いっぱい つままっているのよ。
おいしくいただきますよ」



カズくんのかおも ママのかおも
えがおに なりました。

おじさんも おばさんも まわりにいた ひと、
みんな みんな えがおに なりました
こめたろうも うれしくて にっこり。

みんなが えがおになって よかったね。

こうして こめたろうの たびは おしまい。
めでたし めでたし。

こめたろうものがたりについて

阪神・淡路大震

『避難所に届いたおにぎりは冷たかった』

そんな話をよく聞きます。

しかし、おにぎりは最初は温かかったはず・・・

熱々のご飯を一生懸命握った人がいたのです。

“困っている人達のために・・・”

おにぎりに込められた人の優しさ、温かさを伝えたい

という思いから作成しました。

阪神・淡路大震災のエピソードをもとに作成した物語です。

SPECIAL THANKS

防災教育チャレンジプラン

園田学園女子大学附属 学が丘幼稚園

頌栄短期大学

兵庫県立舞子高等学校

株式会社トゥエンティワン

「こめたろうものがたり」

作・絵 : 地球防災隊・頌栄短期大学学生

池田 早苗・浦井 聖也・奥野 香苗・河田のどか
杉田かなえ・住友 香織・山本 美羽・吉田ひとみ

塩田 弥生・鈴木 祥絵

協力 : 頌栄短期大学学生

石上 綾香・岩切 祐未・植野早央里
岡辺 沙織・坂下 佳奈・砂川恵理子
高月 裕香・高松 有紀・武田 温子
富永 悠・堀池 方枝・増田 志穂・横井 美希

2009年2月



防災教育 チャレンジプラン



